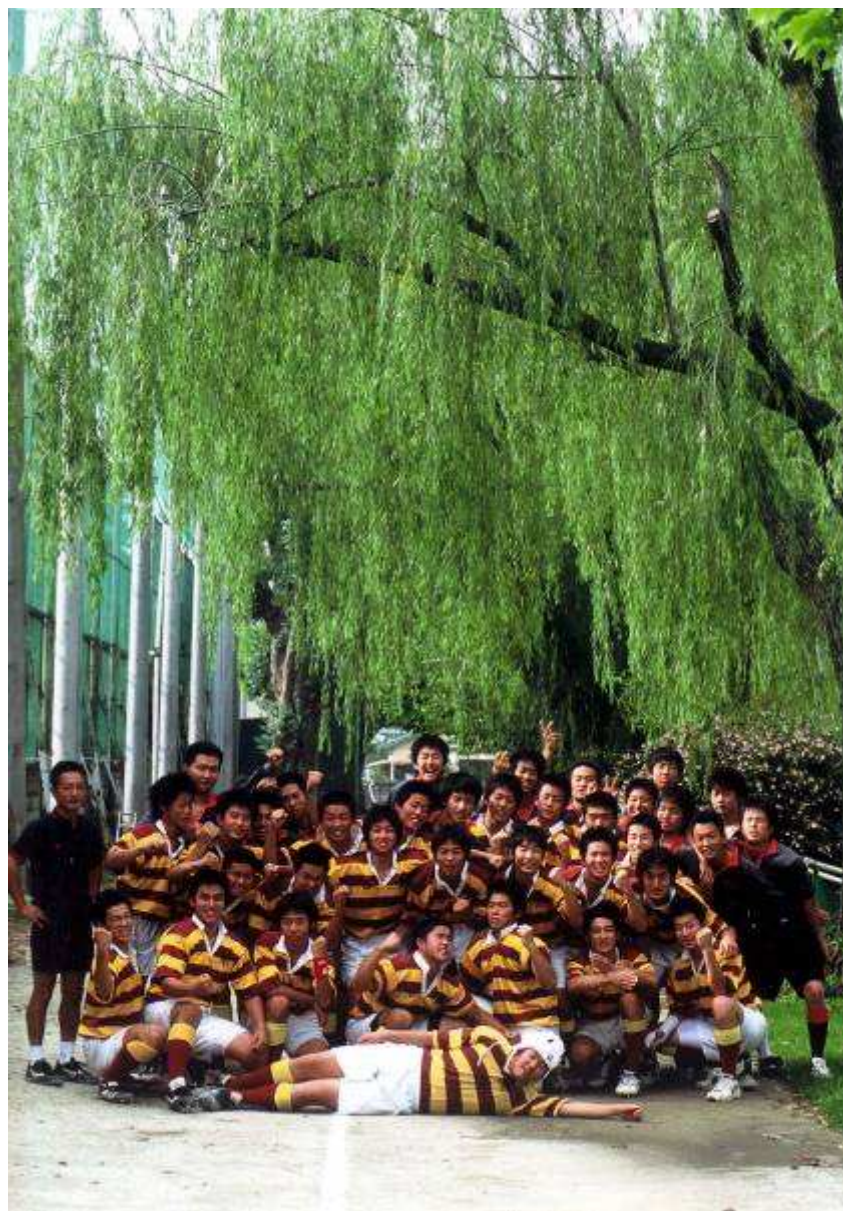


古城のもとの 学び舎に



松山中学・松山東高ラグビー部
75周年記念誌

1931-2006

松中ラグビー部創立以来の理想は
単に強いチームを作って試合に勝つ事のみ
ではなくて、
一つの間人修養の道場たらしめん
とする所にあつたのだ。

此は先輩諸兄はよく知っていたし、
行ったところである。

此の本来の目的を忘れては
松中ラグビー部は存在の意義はない

二宮 晋二

勝つと云う事は大切だが、あらゆるものを(学生は勉強を忘れて)犠牲にしてまで勝つと云う事であってはいけない。

1 時間～2 時間の練習に最善を盡くし、それを止む事なく毎日継続実施し、正々堂々と斗うことこそ尊く美しい。それは人間対人間の対決であるからである。

安易なその場限りの楽しみを求めるのではなく苦しみを越えた喜びを感じ得る部員が育った時、それが部風となった時宿願の価値追求が実証されたと云えるのではなかろうか。

高橋 俊三

目次

巻頭グラビア

歴代チーム写真
栄光の足跡
青春のフィールド
近年のジャージの変遷
母校の風景
OB会&父兄会
Snapshot
沿革・部歌・校歌

1. 巻頭言

- 1.1 ごあいさつ
OB 会会長 丹下 孝三 (S23) p001
- 1.2 75周年に寄せて
松山東高等学校長 栗田 正己 p001
- 1.3 松中・松東ラグビー部ファミリー
現役監督 井手 盛章 (S43) p002
- 1.4 父兄会発足に思う
父兄会初代会長 住田 樹保 p002
- 1.5 松東 DNA を受け継ぐ僕達
平成 18 年現役主将 井上 恭平 p003

2. 歴史編

- 2.1 ラグビー部小史 p005
- 2.2 四国ラグビー風土記 p014
- 2.3 松山ラグビー史 p014
- 2.4 松中・東高ラグビー部史 p015
- 2.4.1 戦前 p015
- 2.4.2 昭和 20 年代 p019
- 2.4.3 昭和 30 年代 p022
- 2.4.4 昭和 40 年代 p022
- 2.4.5 昭和 50 年代 p026
- 2.4.6 昭和 60 年代 p028
- 2.4.7 平成初期 p031
- 2.4.8 平成 10 年代 p035

3. 人物編

- 3.1 略歴
- 3.1.1 阿部 公政 (T6) p049
- 3.1.2 二宮 晋二 (T12 四修 元監督) p049
- 3.1.3 鮎田 忠一 (T15) p049
- 3.1.4 稲川 武男 (S4) p049
- 3.1.5 二神 軍四郎 (S8) p049
- 3.1.6 大西 辰居 (S9) p049
- 3.1.7 高市 恵之助 (S9) p049
- 3.1.8 五百木[竹田] 善 (S9) p050
- 3.1.9 泉[関谷] 忠義 (S9) p050
- 3.1.10 大窪 利彦 (S9) p050
- 3.1.11 二宮 基保 (S9) p050
- 3.1.12 坂田 幸男 (S9) p050
- 3.1.13 庭瀬 宗一 (S13) p050
- 3.1.14 野間 正三 (S13) p050
- 3.1.15 大西 五郎 (S13 四修 元監督) p051
- 3.1.16 相原 敏弥 (S14) p051
- 3.1.17 土居 通弘 (S14) p051
- 3.1.18 友沢 達己 (S14) p051
- 3.1.19 細田 虔 (S14 元監督) p051
- 3.1.20 谷川 精司 (S14) p051

- 3.1.21 河邊 八郎 (S15 元監督) p051
- 3.1.22 松原 洋 (S15 元監督) p052
- 3.1.23 亀井 清隆 (S15) p052
- 3.1.24 武田 嵩 (S18) p052
- 3.1.25 細田 新 (S18) p052
- 3.1.26 山本 卓 (S21) p052
- 3.1.27 安永 義則 (S22) p052
- 3.1.28 芳野 規 (S22) p052
- 3.1.29 丹下 孝三 (S23 元監督) p053
- 3.1.30 坂本 士郎 (S24) p053
- 3.1.31 高市 久徳 (S26) p053
- 3.1.32 高橋 俊三 (元監督) p053
- 3.1.33 三輪田 綱丸 (S29) p053
- 3.1.34 尾崎 政雄 (S30) p053
- 3.1.35 大野 勝英 (S36) p053
- 3.1.36 三輪田 元敬 (S36 元監督) p054
- 3.1.37 熊 康夫 (S37 元監督) p054
- 3.1.38 和泉 武雄 (S40) p054
- 3.1.39 井手 盛章 (S43 監督) p054
- 3.1.40 岡部 憲治 (S45) p054
- 3.1.41 白石 隆保 (S50 元監督) p054
- 3.1.42 平岡 長弘 (S55 元監督) p054
- 3.1.43 栗林 誠 (S57 前監督) p055
- 3.1.44 神井 弘之 (S60) p055
- 3.1.45 新居 久直 (H4) p055
- 3.1.46 桐山 雄臣 (H13) p055

3.2 故人追悼

- 3.2.1 二宮 晋二 (1945. 1. 14 逝去) p055
- 3.2.2 坂本 士郎 (1947. 12. 7 逝去) p056
- 3.2.3 鮎田 忠一 (1954. 11. 30 逝去) p057
- 3.2.4 山本 卓 (1957. 10. 27 逝去) p058
- 3.2.5 中川 泰彦 (1970. 11 逝去) p062
- 3.2.6 高市 恵之助 (1985. 6. 16 逝去) p063
- 3.2.7 安永 義則 (1986. 5. 11 逝去) p066
- 3.2.8 芳野 規 (1987. 4. 10 逝去) p067
- 3.2.9 五百木[竹田] 善 (1988. 11. 1 逝去) p068
- 3.2.10 大窪 利彦 (1990. 12. 1 逝去) p071
- 3.2.11 二宮 基保 (1991. 9. 1 逝去) p071
- 3.2.12 二神 軍四郎 (1992. 4. 24 逝去) p072
- 3.2.13 高橋 俊三 (1993. 12. 3 逝去) p072
- 3.2.14 庭瀬 宗一 (2001. 8. 23 逝去) p073
- 3.2.15 細田 虔 (2004. 10. 30 逝去) p074

4. 表彰

- 4.1 二宮基保 体育功労文部大臣賞 (1984. 10) p075
- 4.2 土居通弘 県スポーツ功労者賞 (1984. 12) p075
- 高橋俊三 県スポーツ優秀指導者賞 (1984. 12)
- 二神軍四郎 60 周年記念功労者賞 (1984. 12) p076
- 4.3 足立健三 県スポーツ功労者賞 (1986. 12) p076
- 4.4 大西五郎 県ラグビー協会特別表彰 (1987. 5) p076
- 4.5 土居通弘 体育振興文部大臣賞 (1987. 10) p076
- 4.6 思惑ラグビークラブ
県体育協会優秀スポーツクラブ賞 (1988. 2) p077
- 4.7 大西五郎 社会体育指導員全国表彰 (1989. 10) p077
- 4.8 大西五郎 県スポーツ功労者賞 (1990. 3) p078
- 4.9 思惑ラグビークラブ
社会体育優良団体賞 (文部大臣表彰) (1990. 10) p078
- 4.10 横山闌 県スポーツ功労賞 (2006. 2) p079

5. ラグビー部紹介

- 5.1 東高新聞より p081
- 5.1.1 クラブ訪問 (1962) p081
- 5.1.2 クラブ訪問 (1966) p081

5.1.3	クローズアップ(1979)	p081
5.1.4	クローズアップ(1988)	p082
5.2	生徒会誌「青柳」より	p082

6. 同窓会・記念式典

6.1	松中東高ラグビー後援会(1975)	p093
6.2	愛媛ラグビー50周年(1980)	p093
6.3	ラグビー部創立時同期会(1980)	p096
6.4	松中ラグビー部一期生会(1981.4.17)	p096
6.5	松山中学・松山東高同窓会創設50周年(1982.8)	p096
6.6	松中ラグビー一期生会(1985.5.16)	p097
6.7	「美しき絆」恩師藤井先生を囲む会(1988.4)	p098
6.8	松中・東高OB vs 愛媛師範OB定期戦(1988.11)	p098
6.9	'89愛媛ラグビーカーニバル(1989)	p099
6.10	二神軍四郎さん喜寿の会(1991.11)	p099
6.11	愛媛ラグビー先人の遺徳を偲ぶ 追悼の集い(1991.12.2)	p100
6.12	愛媛ラグビー60周年(1992)	p100
6.13	戦後大会復活50周年記念行事(1997)	p101
6.14	創立120周年記念招待ラグビー試合(1998)	p103
6.15	創立125周年(2003)	p103
6.16	平成16年関東支部総会(2004)	p104
6.17	昭和57年卒同期会	p105

7. 思い出

7.1 松中・東高ラグビー

7.1.1 大正～昭和初期

a)	愛媛ラグビーの誕生	阿部 公政(T6)	p107
b)	ラグビーの思い出	五島 傳	p107
c)	空白の六年間	二宮 基保(S9)	p108
d)	愛媛ラグビーの草分け時代	相原 正一郎	p108
e)	二宮さんと愛媛ラグビー	藤井 謙三(教諭)	p110
f)	ラグビー松山誕生当時を偲びて	二神 軍四郎(S8)	p111
g)	第1回徳島遠征(昭和7年)	二宮 晋二(T12 四修)	p111
h)	思い出すまゝ	高市 利夫(S9)	p112
i)	思い出	二神 一(S9)	p113
j)	昭和8年度の松山中学ラグビー部	五百木[竹田] 善(S9)	p114
k)	喜怒哀楽	五百木[竹田] 善(S9)	p114
l)	慶応ラガーマン対談	大西 辰居(S9)	
		桐山 雄臣(H13)	
		司会 小椋勇記夫(S32)	p116
m)	アンボの回顧	松田[山崎] 紀久(S9)	p117

7.1.2 昭和10年代

A) 全般

a)	部誌創刊のころ	二宮 基保(S9)	p120
b)	劣等生の繰言	関谷 明(S12)	p121
c)	ラグビーと私	大西 五郎(S13 四修)	p121
d)	昭八入学乙組の群像	庭瀬 宗一(S13)	p122
e)	二つの賞	庭瀬 宗一(S13)	p123
f)	ラグビー雑感	庭瀬 宗一(S13)	p124
g)	ラグビー三代記	庭瀬 宗一(S13)	p125
h)	精勤賞	庭瀬 宗一(S13)	p126
i)	功労賞	庭瀬 宗一(S13)	p126
j)	青春とラグビー	土居 通弘(S14)	p127
k)	希望ある限り青春不滅(ラグビー人生50年)	土居 通弘(S14)	p129
l)	思い出すままに	仲井 信夫(S14)	p133
m)	わが交友録「心の旅路」	仲井 信夫(S14)	p134
n)	「賞罰なし」であれ	細田 虔(S14)	p135
o)	スボシの子	松原 洋(S15)	p136
p)	戦時中の松高ラグビー	松原 洋(S15)	p137

q)	紅もゆる丘の花	本間 重夫(S19)	p137
r)	ラグビーと私	本間 重夫(S19)	p139

B) 田辺義治先生

a)	思い出	田辺 義治(教諭)	p140
b)	スポーツの歩み	田辺 義治(教諭)	p140
c)	松山・ハルビン・東京	細田 虔(S14)	p142
d)	松中時代の思い出	藤谷 馨(S15)	p143
e)	空高し	香川 廣順(S17)	p143
f)	激動の我が松中時代	西原 昭(S21)	p144

7.1.3 昭和20～30年代

A) 全般

a)	「思い出に加えて感ずること」	重松 櫻三(教諭)	p146
b)	「楯子のボールで遊んだころ」(戦後のラグビー部秘話)	鴨川 信正(S25)	p147
c)	「過去を語るより、未来を」	黒田 努(S27)	p149
d)	国際・非営利活動に参加して(松山離れて半世紀)	黒田 努(S27)	p151
e)	ラグビーの真髄	尾崎 政雄(S30)	
		和田 憲明(S30)	
		司会 小椋勇記夫(S32)	p153
f)	「一期一会」	和田憲明[平八郎](S30)	p154
g)	『ラグビー馬鹿と思惑クラブ』	河本 忠勝(S31)	p154

B) ラグビー部歌

a)	「焦土の青春」座談会	松中扶桑会座談会より	p155
b)	松中時代の思い出	徳永[平松]昭夫(S22)	p156
c)	ラグビー部歌の生い立ち	松崎 伸一(S57)	p157

C) 稲川武男先生

a)	稲川武男先生と「駅馬車」	林 定亨(S28)	p158
----	--------------	-----------	------

7.1.4 昭和40～60年代

a)	高校ラグビーの思い出	井手 盛章(S43)	p159
b)	「ニュージーランドからこんにちは」	Yoon Han-Seung(S44)	p159
c)	松山東高ラグビー部の思い出	須之内 辰雄(S46)	p160
d)	臙脂黄色ストライプジャージと仙波組	久米 秀俊(S51)	p161
e)	「黄 × エンジ」の復活	野本 聡(S55)	p161
f)	四国大会Aブロック初優勝チームの実情	矢野 良知(H1)	p162

7.1.5 平成年代

a)	愛媛のラグビー史を綴る裏方さん 高校女子マネージャー初の集い		p163
b)	新人戦優勝の夢	新居 久直(H4)	p165
c)	3世代5人の東高卒	島川 武(S30)	p165
d)	ラグビーLifeへの第一歩	日野 哲博(H7)	p166
e)	『最高のフィフティーン』	浦戸 亮治(H10)	p166
f)	「慶応義塾体育会蹴球部の4年間」	桐山 雄臣(H13)	p166
g)	悪性リンパ腫からのラグビー☆	真鍋 祐樹(H13)	p167
h)	四国大会Aブロック優勝までの軌跡	万代 道也(H16)	p168
i)	「キャプテン日記」	住田 龍介(H18)	p168

7.2 ラグビー全般

a)	陶芸でラグビーボールを作る	五百木[竹田] 善(S9)	p170
b)	オールブラックスに学ぶ	細田 新(S18)	p170
c)	ラグビー書簡と私(1)	本間 重夫(S19)	p170
d)	ラグビー書簡と私(2)	本間 重夫(S19)	p173
e)	早明ラグビー対抗戦と私	本間 重夫(S19)	p176
f)	ノーサイド人生と私 (1)病氣と私	本間 重夫(S19)	p177
g)	スポーツマンシップ	郷田 昭弘(S20)	p178
h)	ラグビー俳句	郷田 昭弘(S20)	p178

i) 卒業する諸君に 3年主任の送辞 自分を見失わないで	
	高橋 俊三(教諭) p179
j) 第17回全国社会人ラグビー大会決勝 朝日新聞記事	
	尾崎 政雄(S30) p179
k) レフリングこの1年	井上 哲男(S53) p179
l) 慣性	井上 哲男(S53) p180

三輪田監督似顔絵	p158
松岡先生似顔絵	p169
栗林監督似顔絵	p180
平成17・18年県総体応援イラスト	p195
ラグマガ取材風景 和泉武雄さん(S40)	p196
堀之内ラグビー場の今	p203
平成18年春新人勧誘リーフレット	p204
大西辰居(S9) 慶応大 vs NZU スコア	p211
尾崎政雄(S30) 第3回NHK杯スコア	p223
愛媛ラグビー50年記念試合パンフレット	p264
オックスブリッジ来日 パンフレット	p282
アサヒスポーツ 昭和11年(1936年)2月15日号	p299
早明戦入場券 昭和10年(1935年)	p299
慶応大 vs 東京帝大 選手入場券 昭和10年頃	p299
早慶戦パンフレット 昭和13年(1938年)	p300

8. がんばっていきましょい

8.1 第4回坊っちゃん文学賞	p181
8.2 明教第27号	p182
8.3 創立125周年記念碑「がんばっていきましょい」	p185
8.4 テレビドラマ「がんばっていきましょい」	p187
8.5 「がんばっていきましょい」の変遷	p189

9. グラウンド

9.1 道後グラウンド	p197
9.2 堀之内県営ラグビー場	p197
9.3 愛媛県総合運動公園球技場	p200
9.4 大洲総合運動公園陸上競技場	p201
9.5 久万高原ラグビー場	p201
9.6 その他	p202

10. 試合記録

10.1 優勝チーム一覧	p205
10.2 試合結果	
1925～1939年	p208
1940～1949年	p212
1950～1959年	p215
1960～1969年	p224
1970～1979年	p235
1980～1989年	p247
1990～1999年	p265
2000～2006年	p283

【スクラップ】

第22回全国中等学校ラグビー大会パンフレット	
昭和15年(1940年)	p301
ラグビーマガジン 1988年四国大会A優勝	p304
ラグビーマガジン 1991年四国大会A優勝	p305
ラグビーマガジン チーム・オブ・ザ・マンズ	
松山東高校ラグビー部	p306

【付録CD目次】	p308
【75周年事業】	p309
【75周年事業実行委員より】	p310
【松山中学・松山東高校ラグビー部OB会】	p311
【参考文献】	p311
【写真・資料提供】	p311
【編集後記】	p312

○挿入イラスト・写真, etc.

ザ・ラグビー 小椋勇記夫(S32)	p047
愛媛ラグビー誕生と一戸知事	p048
平成15年四国大会Aブロック優勝祝賀会	p105
運動会とラグビー部	p106
高橋監督似顔絵	p119
白石監督似顔絵	p119
熊監督似顔絵	p145

歴代チーム写真



愛媛ラグビーの父 二宮晋二 (本文 p49, 111, 137)



昭和7年(1932年)創部時 (本文 p111)



昭和12年(1937年)12月5日 全国中等大会県予選優勝(本文 p18)
道後グラウンド



昭和10年(1935年)



昭和13年度(1938年度)
第21回全国中等大会に初出場を果たした松山中学チーム
(本文 p15)



昭和13年(1938年)12月27日 全国中等大会四国予選優勝
松山中9-0徳島中 徳島西ノ丸グラウンド
優勝旗を受け取る細田主将



昭和22年(1947年)



平成 14 年 (2002 年) 6 月 16 日 四国大会 B ブロック 21 年ぶり優勝 (本文 p40)
久万高原ラグビー場



四国大会 B ブロック優勝カップ
S56 と H14 のリボンが見える



平成 15 年 (2003 年) 6 月 15 日 四国大会 A ブロック 12 年ぶり 3 回目の優勝 (本文 p43, 168)
徳島市球技場



優勝カップを中心に
『がんばっていきましょい』



平成 17 年 (2005 年) 6 月 19 日
四国大会 B ブロック 11 回目の優勝 (本文 p168)
OB & 父兄会の方々と 久万高原ラグビー場

父兄会より寄贈された横断幕と
平成 18 年度現役

堀之内
県営ラグビー場
(本文 p197)



平成 13 年 (2001 年) 1 月 1 日 OB 戦





昭和 52 年 1 月 15 日 OB 会 伊予鉄会館



松中一師範定期戦 (本文 p96, 98)

松中一師範定期戦 昭和 58 年 4 月 29 日

松中一師範定期戦トロフィー&盾



平成 16 年 8 月 1 日 同窓会関東支部総会 (本文 p104)



↑平成18年4月8日第54回四国予選
八幡浜戦



↑平成16年6月6日県総体松商に勝利し4強進出



↑平成17年6月19日四国選手権決勝徳島城東戦①



↑平成17年6月19日四国選手権決勝
徳島城東戦②



↑平成17年6月19日四国選手権決勝徳島城東戦③



↑平成17年4月17日四国予選
準々決勝中予合同戦①



↑平成17年4月29日第53回四国予選
決勝新田戦



↑平成17年1月22日新人戦
二回戦新田戦



↑平成17年6月19日四国選手権決勝
徳島城東戦④



←平成17年4月17日四国予選
準々決勝中予合同戦②



↑平成17年6月19日四国選手権決勝徳島城東戦⑤



↑平成17年3月27日第12回久万町長杯鳴門戦

ラグビー部沿革

昭和 5 年(1930)		9 月, 全日本が初の海外遠征(カナダ)を実施する。 二宮晋二が代表に選ばれるが, 肺結核のため辞退。静養のため松山に帰郷。
	9 月	藤井謙三が松山中学に赴任
6 年(1931)	初冬	二宮晋二・藤井謙三の指導により活動開始
7 年(1932)	2 月 11 日	松山中・松山高・松山 OB 連合による県下初の公式試合開催。松中 0-3 松高 B
	3 月 21 日	第 2 戦を実施し初勝利を挙げる。松中 13-3 松山 OB
	3 月 or 4 月	正式創部
14 年(1939)	1 月	第 21 回全国大会出場(初) 0-49 秋田工 (会場: 南甲子園)
15 年(1940)	1 月	第 22 回全国大会出場(2 回目) 0-17 北野中 (会場: 南甲子園)
20 年(1945)	1 月 14 日	二宮晋二逝去
22 年(1947)	1 月	第 26 回全国大会出場(3 回目) 3-14 神戸二中 (会場: 西宮球技場)
	12 月 7 日	全国大会四国予選決勝(vs 脇町)の試合中, 坂本土郎が頭部を打撲し逝去
23 年(1948)	1 月	故坂本選手の追悼のため第 1 回中等ラグビー選手権(坂本杯 現在の新人大会)が開催される
	4 月	松山第一高等学校と改称
24 年(1949)	9 月	松山商と統合され, 松山東高等学校と改称
27 年(1952)	1 月	松山商業高等学校分解独立
32 年(1957)	10 月 26 日	山本卓(S21 卒)が第 12 回秋季国体(静岡)の試合で頭部強打。翌 27 日未明逝去
36 年(1961)	4 月	高橋俊三が監督就任
41 年(1966)	4 月	四国大会 B ブロック 優勝(初)
43 年(1968)	4 月	四国大会 B ブロック 優勝(2 回目)
44 年(1969)	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(3 回目)
45 年(1970)	1 月	第 49 回全国大会出場 (4 回目) 6-10 西陵商 (会場: 花園)
	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(4 回目)
	11 月	中川泰彦が全国大会県予選期間中に交通事故に遭い逝去
46 年(1971)	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(5 回目)
47 年(1972)	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(6 回目)
49 年(1974)	4 月	井手盛章が監督就任
	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(7 回目)
50 年(1975)	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(8 回目)
54 年(1979)	4 月	白石隆保が監督就任
	同上	四国大会県予選から松中時代の伝統のジャージ, 臙脂と黄色がファーストジャージとして正式復活
56 年(1981)	5 月	四国大会 B ブロック 優勝(9 回目)
59 年(1984)	4 月	熊康夫が監督就任
62 年(1987)	4 月	三輪田元敬が監督就任
63 年(1988)	5 月	四国大会 A ブロック 優勝(初)
平成 3 年(1991)	6 月	四国大会 A ブロック 優勝(2 回目)
5 年(1993)	12 月 3 日	高橋俊三逝去
7 年(1995)	4 月	平岡長弘が監督就任
10 年(1998)	10 月	学校創立 120 周年記念試合開催
13 年(2001)	4 月	栗林誠が監督就任
14 年(2002)	2 月	7 人制四国大会優勝(初)
	6 月	四国大会 B ブロック 優勝(10 回目)
15 年(2003)	6 月	四国大会 A ブロック 優勝(3 回目)
17 年(2005)	3 月	7 人制四国大会優勝(2 回目)
	6 月	四国大会 B ブロック 優勝(11 回目)
18 年(2006)	4 月	井手盛章が 2 回目の監督就任
	9 月	75 周年記念事業実施

松山中学・松山東高沿革

- 文政 11. 2 松山藩主久松定通明教館を設立(1828)
- 明治 5. 4 松山県学校を開設
6. 3 英学舎と改称
8. 7 県に移管、英学所と改称
9. 8 変則中学校と改称、俗称北予中学校
10. 6 北予変則中学と改称
11. 6 愛媛県松山中学校と改称(創立年とする)
17. 5 愛媛県第一中学校と改称
20. 5 愛媛県第一中学校廃校
21. 9 (私立)伊予尋常中学校開校
25. 4 (私立)伊予尋常中学校廃校
25. 5 愛媛県尋常中学校開校、校友会を創立し保恵会と称する
29. 4 東予(西条)、南予(宇和島)分校開校
32. 4 愛媛県立松山中学校と改称 分校独立
41. 11 松山中学校生徒保護会創設
- 大正 5. 4 松山市持田町(現在地)に新校舎竣工 二番町より移転
- 昭和 6. 2 松山中学校校歌制定(林古溪作詩作曲)、創立記念日を 5. 16 とする
7. 4 松山中学校同窓会創設
9. 12 火災により本館・講堂その他焼失
13. 10 復興落成式、創立 50 周年記念式典挙行(運動場拡張、明教館移築、50m プール竣工)
17. 4 火災により本館その他焼失
20. 7 戦災により明教館、プールを除く全建物焼失
23. 4 学制改革により愛媛県立松山第一高等学校として発足(通信教育部を設置)
23. 10 創立 60 周年記念式典挙行 講堂他竣工
24. 9 愛媛県立松山東高等学校と改称 松山商業高等学校と統合
25. 4 通学区割、男女共学実施
27. 1 松山商業高等学校分解独立
28. 2 松山東高等学校 校歌制定
34. 10 創立 80 周年記念式典挙行(図書館、第 1 及び第 2 体育館など竣工)
40. 12 本館竣工
43. 10 創立 90 周年記念式典挙行
45. 11 同窓会誌「明教」創刊
48. 8 茶室「難思庵」竣工
53. 10 創立 100 周年記念式典挙行「静動の百年そして今」の碑建立、特別教棟、弓道場、テニス・バレーコート竣工
57. 3 第 2 教棟竣工
57. 8 同窓会創設 50 周年記念式典挙行
59. 2 格技場竣工
60. 3 第三教棟、図書館竣工
62. 3 東体育館竣工(緞帳設置)
63. 10 創立 110 周年記念式典挙行(史料館竣工)
- 平成 10. 10 創立 120 周年記念式典挙行(ウェイト・トレーニング器具一式設置)
15. 10 「がんばっていきましょい」碑建立
18. 5 創立 128 周年を迎える(明治 11 年を創立年とする)

松中ラグビー部歌

作詞 二宮 晋二
作曲 山内 一郎

詩の国の古城の東 学び舎に
文読む児等 青春の
燃え出づる力 たぎる血潮
試むか 男の児の技を
青空の下 角笛響く
縞馬のごと 広野を駆けん

丈夫の誇りを胸に臙脂と黄の
戎衣も軽し 颯爽と
皆あげて 立ちし今
消えぬ可し 怯懦の心
吹き狂ふ雪 凜冽の嵐
何かはあらん 肉弾打てば

たまゆらの短き月日さはあれど
睦び合ひし 団結の
断ち難き絆 忘れじ情
顧みむか 懐かし吾が友
汗の練磨 悲運の戦
輝く勝利の 日も亦ありぬ

松中・東高ラグビー部歌

作詞 谷野 予志
作曲 江渡 陽一郎
編曲 谷口 真也

古城もとの学び舎に
文読む児等が青春の
湧き出る力 燃ゆる望みに
男児が技を打ちきそう
炎天のもと 角笛ひびけ
驛馬の如く 広野をかけん

誇りを胸に純真の
輝く縞のユニフォーム
今こそ行かん いざ戦わん
我等が道は 勝利のみ
うちくる吹雪 逆巻く嵐
何かはあらん 肉弾打てば

短き月日過ぐるとも
睦し時の団結ぞ
思いは残る 友の情に
強き絆は 断ちがたく
涙の鍛錬 汗の練磨
我が内にぞ 常に輝く

松山中学・松山東高ラグビー部歌

The musical score is written in a single system with six staves. The key signature has three flats (B-flat, E-flat, A-flat), and the time signature is common time (C). The score includes a 3-measure rest at the beginning, followed by notes with lyrics underneath. There are several 'V' marks above the staff, likely indicating breath marks or phrasing. The lyrics are: こ じょう の も と の ま なび や に ふ み よ む こ ら が せ い し ゅ ん の わ き で る ち か ら も ゆ る の そ み に お の こ が わ さ を う ち き そ う え ん て ん の も と 一 つ の ふ え ひ び け か ん ば の ご と く こ う や を か け ん

松山中学校 校歌

林 古溪 作歌作曲

Maestoso

フタハシラカミイトナマシシ
フタナノシマノイヨノクニ
ソビエテ繁りぬ扶桑の大樹
清くけだかき我等の心
キヨクケダカキワレラノココロ

(1)
二柱神 いとなましし
二名の島の 伊予のくに
そびえて繁りぬ扶桑の大樹
清くけだかき 我等の心

(2)
吾がすめらぎみ詔り給ひし
みことのまにまいかしたつ
根を張る枝はる 松山中学
治めつちかふ我等のつとめ

(3)
日の光てる 天のみなか
此の世にしかず 厚き幸
智仁勇気のしるしぞたかき
たてよその旗 我等の行手
(昭和6年2月11日制定)

松山東高等学校 校歌

洲之内 徹 作詞
近衛 秀麿 作曲

まゆきよらかに 頬はあつく
いのち また燃えたり
かかる日のかかる朝なり
青雲の思ひ 流れやまず
流れやまず 苗明けゆく
空のはたて
学舎の庭 春たけたり
千筋なす 青柳
風吹かば 掛けしたて琴
弦のひびき 鳴りわたりぬ
鳴りわたりぬ
いのち秘めにし 若き調

(1)
眉きよらかに頬はあつく
いのち また燃えたり
かかる日のかかる朝なり
青雲の思ひ 流れやまず
流れやまず 苗明けゆく
空のはたて

(2)
学舎の庭 春たけたり
千筋なす 青柳
風吹かば 掛けしたて琴
弦のひびき 鳴りわたりぬ
鳴りわたりぬ
いのち秘めにし 若き調

(3)
誇はたかく 夢はふかく
われら ここに集ふ
ここにして 唇に歌あり
ここにありて日は美はし
日は 美はし
光もとめて 生くる月日
(昭和28年9月17日制定)

1. 卷頭言



1. 巻頭言

1.1 ごあいさつ

OB 会会長 丹下 孝三 (S23)

このたび、先輩各位並びに関係者の皆様方のご尽力を持ちまして、75周年記念誌を発刊する運びとなりました。誠に喜びに堪えません。心から感謝申し上げます。

昭和6年初冬、故二宮晋二先輩が楯円のボールを持田の庭にもたらしめてくださってから、はや75年を迎えております。2005年12月に愛媛県ラグビーフットボール協会は、協会創立75周年の記念式典を開催されましたが、『愛媛ラグビー五十年』に記されている通り、愛媛ラグビーの歴史は、松山中学から始まったとも言えるものです。昭和6年初冬に活動を開始したのは、松中、松高、松山クラブの3チームなのであります。そこで我々としても、何か75周年のイベントを実行できないかとOB諸氏と思索し、こうして75周年記念誌を発刊することとした次第です。

戦前には、松中の諸先輩方のご尽力により松山中学ラグビー部誌が発刊されましたが、その後、私の承知する限りでは部誌は発刊されていないものと思います。戦後の高度経済成長期においては、国の復興のために皆が邁進していたため、そのような余裕もなかったのではないのでしょうか。しかし、私も齢を重ねる毎に、記録の大切さを痛感しております。人の世の理には敵わず、草創期の偉大な先輩方も残念ながら鬼籍に入られる方が多くなって参りました。そうした今この時に、部の歴史を正確に後の世代に引き継ぐことは重要なことと考えます。OBの活躍の足跡を、またOBの思いを後の世代の方々に伝えることは、部の財産となり、力となると思います。今、我が部は75年目を迎えておりますが、今後益々の繁栄を祈るならば、今ここに部の歴史を整理して記録を残すべきと考えました。

記念誌編集に当たりましては、草創期の先輩方に執筆のご無理を申す訳にもいかないため、過去の記述・記録等を拾い出して取りまとめることを主眼に行ないました。記述・記録の収集は、同窓会誌「明教」・「関東明教」、「愛媛ラグビー五十年」、県協会機関誌「えひめRUGBY」、生徒会誌「青柳」等を中心に行いました。収集してみて、草創期の諸先輩方のご寄稿の多さには改めて驚きました。部誌という形でなくても、諸先輩は部の歴史を鮮明に記して下さっていたのです。誠に頭の下がる思いがした次第であります。また、草創期の先輩のご寄稿は、全て温かく、その友情の深さを感じます。『美しき絆』という藤井先生との心温まる交流の様相についての寄稿がありますが、本当に、草創期の昭和8・9年卒の先輩の絆が太く固かった故、我がラグビー部が75年も続いたのだと感慨深く編集作業を致しました。愛媛ラグビーの歴史は松中から始まると先ほど述べましたが、愛媛のラグビーがここまで発展したのもこうした諸先輩のおかげだと改めて痛感いたしました。

記念誌は、様々な文献の記述を統合して形作りしましたので、全体的な整合がとれていない感がすることは否めません。しかし、部の歴史を出来る限り正確に伝えることを目的として、極力原文のまま大きく改編することなく掲載することとしました。また、OB諸氏の卒業後のご活躍の様子も、ラグビー部の歴史の1ページかと考え、収録させていただきました。ご了承いただきたく存じます。

近年、現役は全国大会(花園)には出場しておりません。大学受験の関係から致し方ないところは思います。しかし、昭和63年には初めて四国大会Aブロックで優勝。その後も、平成3年・平成15年にもAで優勝と素晴らしい成績を挙げております。今後も、さらなる飛躍を目指して努力してもらいたいと考える次第であります。そのためには、現役・OB会・父兄会が一致団結して、「松中・東高ラグビー部」を盛り上げていくことはありませんか。どうか今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



1.2 75周年に寄せて

愛媛県立松山東高等学校長 栗田 正己

松山中学・松山東高校ラグビー部が第一歩を踏み出して75年がたちました。これを記念して『松山中学・松山東高ラグビー部75周年記念誌 古城のよとの学び舎』が刊行されますことは、まことに意義深く、喜びに堪えないところであります。四分の三世紀の長きにわたり本校ラグビー部を物心両面から支えていただきましたラグビー部OB会、保護者会の皆様をはじめ、関係各位には深く感謝申し上げます。



さて、松山中学・松山東高校ラグビー部は、皆様ご承知のとおり、昭和6年(1931)、松山中学の先輩で全日本の選手にも選ばれた二宮晋二氏や、当時松山中学の教員であった藤井謙三先生のご尽力によって結成されました。その経緯について、藤井先生は、「(二宮さんとの間で)一つ松山地方でラグビーを始めようとの話になり、松山中学で先ずチームを作ってはとの議がまとまり、学校首脳の方々の説得に当たることとなりました。最初は危険を伴う競技だとの先入観が強く、ご諒解を得るのに相当の時間と努力がいりました。」と書いておられます。『愛媛ラグビー五十年』より)

また、松山中学ラグビー部1回生で、二宮氏の薫陶を受けた二神軍四郎氏は、「松中の運動場でボールの取り方、キックの仕方、パスの要領、ドリブルの練習と全く初歩から細かくご指導いただいた。また、ラグビーは紳士でなくてはならないというラグビー精神を強調され、ラグビーとしての教養を積ませていただいた。それが私たちの心の支えとなり、人生の基盤として生きてゆかれたと、五十年を経過して、つくづくと有難く思う次第です。」と書かれています。(同上)

私も本校を昭和41年に卒業し、教員としても平成の初頭に母校に勤務させていただきましたが、東高のラグビー部と言いますと、まず思い出されるのは高橋俊三先生のことです。私たちが生徒の時代、いつも白い短パン姿で生徒の先頭に立って元気にグラウンドを走り回られていた姿が今も脳裏に焼きついています。

もう一つは、平成3年の県総体、四国総体の優勝です。この年、私は3年生の担任をしており、優勝メンバーの中に3人(藤田大輔君、丸山大亮君、森脇寛君)、私のクラスの生徒がいましたので、ラグビー部の活躍は特に印象深いものとなりました。当時の教頭重松邦彦先生は、『青柳28号』に「今年度はラグビー部の活躍がめざましく、新人戦、県総体、四国大会と三冠をものにし、向かうところ敵なしであった。そのお祝い会をラグビー部のOB会が何度もしてくださった。会長の二神軍四郎先輩は、本校を卒業されてもう六十年にもなる。そんな先輩方が、後輩の活躍を心から喜んで祝ってくださった。げに有り難きものは先輩かな、である。」と書かれています。この記念誌の発刊に当たり、改めて、本校を強力にバックアップしていただいている伝統の力、諸先輩の熱い思いを、ひしひしと感じる次第です。

現在、スポーツの世界は多岐・多様化し、一部の競技スポーツにおいては、勝つためには手段を選ばないという「勝利第一主義」に陥っている感があります。もちろん、スポーツで勝利を目指すこと自体は決して悪いことではありませんが、教育の一環として行われる部活動においては、相手を尊重し、ルールを守り、正々堂々と最後まで全力を尽くすなど、スポーツマンシップ、フェアプレーの精神や態度を身につけ、それを基盤にした人間形成を目指すことが非常に重要であることは言うまでもありません。これからは「古城のよとの学び舎」でラグビーを愛し続ける若きラグビー部員たちが、ラグビーという人間形成の場を通じて、そのような精神や態度をしっかりと身につけていくことを願ってやみません。

終わりになりましたが、この記念誌の発刊に当たられた皆様方のご芳苦に対し深く感謝申し上げますとともに、心より松山中学・松山東高校ラグビー部75周年及び記念誌発刊のお喜びを申し上げ、ご挨拶いたします。

現役監督 井手 盛章(S43)

OB・OGの皆様におかれましては、益々清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から現役の活動に関しまして、ご理解・ご協力を賜りましてありがとうございます。



さてこの度は部発足 75 周年にあたり記念行事の開催やこのような立派な記念誌を発刊する運びとなり、多くの皆様のご支援・ご協力をいただいたことに対し心から感謝申し上げます。生徒や保護者の方々には常々「松中・松東ラグビー部ファミリー」という言葉で話をすることですが、卒業してからも母校グラウンドに顔を出し、プレイについてはもちろん学校生活や仕事についてのアドバイスを送ったり、たとえ顔を出さなくても何かあればいつでも協力を惜しまないファミリーが全国に 800 人いることは何にも代え難い我々の財産であると思っております。現役の選手達もそのような伝統のあるラグビー部の一員であることと同時に、同期の仲間と一生そのファミリーに所属していくことになることをたいへん誇りに思っています。まさに、Rugby creates friendship for life. というところです。

ファミリーが 800 人と申しましたが、平成 18 年度時点で把握している数としては、OB、現役、マネージャー等を合わせまして、約 840 人でございます(物故者 120 名を含んでおります)。さらに、平成 11 年には父兄会が発足し種々後援いただいておりますが、父兄会およびその OB の方も含めると、ファミリーの総数は 1,000 人近くにもなります。75 年という歴史を感じさせる数字ではないでしょうか。

この父兄会ですが、発足時には応援用の横断幕や小旗を寄贈していただいたのを始め、試合の度に部員への差し入れなどのサポートをいただいております。物資面の支援だけではなく、年 3~4 回は我々指導者とご父兄との懇親の場を設けてくださり、そうした場でご父兄の方に部の活動方針についてお話することができております。ご父兄の方々の温かいご理解のもとで、生徒達が思い切ってラグビーに打ち込めております。部の運営をスムーズに行う上で大変ありがたく感じております。前任の栗林監督が在籍した 5 年間で、四国大会 A ブロック優勝 1 回、B ブロック優勝 2 回、7 人制四国大会優勝 2 回、県総体優勝 2 回、新人大会準優勝 1 回と華々しい戦績をあげられたことは、選手のがんばりが一義的などころではありますが、父兄会によるサポートの力も大きかったものと私は考えております。

ところで現役の現状をご説明申し上げますと、そうした華々しい戦績の裏で着実に進行していた部員数の減少がとうとう深刻な状態となっております。平成 18 年 4 月の時点で部員は 3 年生 5 名、2 年生 7 名で残念ながら新人戦、並びに四国選手権県予選の 15 人制の部には出場できませんでした。平成 18 年度より入学定員も 11 クラス 440 名から 10 クラス 400 名へと減少し、さらに男子生徒の割合が 50%を割っている状況はラグビー部にとってますます困難なものとなっております。そうした危機的状況に鑑み、今春の入学式においては、積極的に新入部員の勧誘に取り組みました。部員が臙脂と黄色のジャージに着換え、勧誘パンフレットを配布してまわりました。その成果か、1 年生が 10 名入部。運動能力の高い生徒も多く、部の将来に希望を持たせてくれるものがあります。このパンフレット作成は、OB 会のご支援によるもの。これ以外にも、昨年には OB の皆様からのご寄付によりセカンドジャージを新調することができました。また若手 OB の皆様には、週末グラウンドにお越しくださり、現役の練習相手になってくださっています。OB 会の皆様のご支援に対しまして、改めて感謝申し上げる次第であります。

たいへんな時期ではありますが、75 周年を期にまたファミリーの輪を広げて、このすばらしい伝統を引き継いでいくよう尽力して参りたいと思います。今後とも、かわらぬご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

父兄会初代会長 住田 樹保

関係者の皆様にもずけてラグビー部 75 周年、心よりお喜び申し上げます。



私は長男と今年卒業の三男がラグビー部でお世話になりました、今の心境は子供同様、まるで自分が卒業するかの如く、沢山の思い出が多く、正直寂しさ一杯、そんな想いであります。それも全てこのラグビー部の父兄会でお世話させて頂いたお陰ととても感謝致して居ります。

さて、父兄会ですが、平成 11 年 1 月、新人戦を前にして、当時の監督、平岡先生ご自身の学生時代の体験で、子供達をより良くサポートしていく環境には、父兄と子供達の絆が是非必要だ、との熱い思いをお話し頂き、参加した父兄全員がその思いに賛同し発足する事となりました。

当初は単に試合毎の飲み物の補給などの世話をする軽い気持ちで引き受けましたが、その後試合を観戦し、子供たちと接するに連れ、先生が教室で熱く語られた意味が身に沁みて感じる様に成りました。

恐らくどの年代もそうであったと思いますが、子供達の殆どはラグビー経験もなく、体格的にも他校に決して劣っても優れない素人軍団が、交代人員も十分でなく、ぎりぎりの人員で、ぼろぼろになりながら必死で毎試合戦っていく姿に、グラウンドでお世話をしながら観戦を続けた父兄は、幾度となく感動し、熱い声援を送り、時に子供達と伴に一緒に涙したものでした。

振り返ってみて、私事で恐縮ですが、子供達が意気盛んで、年齢的に難しい時期を、コミュニケーションに事欠くこと無く、家庭内でトラブルもなく過ごす事が出来たのは、この父兄会で子供たちの熱い思いをグラウンドで観戦し、同じ目線で子供と接する事が出来たお陰と心から感謝しております。

最後になりますが、日頃から子供達の活動を、熱く温かく見守りご指導を頂いております、監督先生、コーチの皆様、そして忙しい仕事を抱えながらも、ラグビー部の足跡を長年に亘りホームページで紹介頂いている松崎さん、本当に有難う御座います。そして、またご父兄の皆様がこれからも更に、子供たちと共に新しい感動に出合えることを心から願って居ります。

平成 18 年 3 月 30 日

1.5 松東 DNA を受け継ぐ僕達

平成 18 年(2006 年)現役主将 井上 恭平

75 周年を迎えるこの年に、現役主将を務めさせていただき、本当にありがたく感じています。

僕がラグビー部に会って 2 年……。最初に練習を見学した日からそれだけの時が経ち、もうこの場所なしには語れない僕の高校生活になってます。この間本当に多くの事を経験しました。歳の近い先輩方が人間的に立派な方々ばかりであり、かつ立派な戦績を残されたおかげで、僕は「松東 DNA」なるものを強烈に感じてきました。そして、先輩がそうであったように、自分に脈々と受け継がれてきたその DNA を、後輩達にも残していきたいと意識するようになりました。力不足ながらもキャプテンになったこともあり、なおさらその思いを強くする自分です。それだけに、この松東 DNA=松東ラグビー部らしさについては、色々考えさせられます。この DNA なるものを簡単な言葉で表現すると、「自主自律の精神に基づく部活運営」と「極限に近い能力を引き出す集中力」と言えるでしょうか。こうした気風は、東高の校風があってこそできるものだと思います。でも同じ東高であっても、ラグビーという自己犠牲を伴う集団スポーツを通してでないと培われないのではないかと思います。



ラグビー部がこうした DNA を形作ってきたのは、まず個人個人の意識の高さ、自覚ある人間が多いということが、この気風の根底にあると思います。人間が集まれば、それぞれに温度差が生じることは必然だと思いますが、部内にはそれがあまり目につかないように思います。ひょっとして温度差はあるけれど熱くなっている仲間達に水を差さないようにしている者もいるのかもしれませんが……。でもそれも協調性として大切なものでないでしょうか。また、雰囲気乱すようなことがあれば、そのことをお互いに話し合いなんとか改善しようとします。そうやって、仲間同士で同じ熱いものを共有できる喜びが生まれ、先生か誰かが見えないと練習ができないような低レベルな状況は自ずからなくなっていきます。そうした自分達の手で部活を作っているんだという気持ちが拍車をかけ、さらに向上していこうとするよい循環ができた結果、今のラグビー部があるのではないのでしょうか。この流れを作った先輩方および温かいご指導をくださった先生方には本当に感謝の一言しかありません。

時代とともに変わっていくものは多いと思います。OB の方々が今の部を見て、昔とは変わったなあと思うところはあるでしょう。僕も OB になってその時のラグビー部を見れば違いを感じるのだと思います。しかし、どんなに変わっても、自分達の手で部活を作り、仲間を作り、ラグビーに打ち込むという姿勢だけは変わらずに持ち続ける部であって欲しいと思います。僕もまた、そのために尽していきたいと思います。



10. 試合記録



優勝子一挙一覽

No.	年度	卒業年	主将	新人大会(坂本杯)		選抜 四国予選		7人制 四国大会		久万(高原)町長杯		四国大会		春季 10人制	県総体	国体		県中等リーグ	全国大会				
				15人制	10人制	7人制	Aブロック	Bブロック	Aブロック	Bブロック	県予選	四国予選	県予選			北四国予選	四国予選		全国優勝				
1	S7 (1932)	S8	仲田															15	松山中	丸亀中	四国予選	全国優勝	
2	S8 (1933)	S9	津田																16	松山中	脇町中	四国予選	京城師範
3	S9 (1934)	S10	吉野																17	愛媛師範	徳島中	四国予選	台北一中
4	S10 (1935)	S11	中矢															1	松山商	脇町中	四国予選	天理中	
5	S11 (1936)	S12	民立														2	松山中	脇町中	四国予選	天理中		
6	S12 (1937)	S13	庭瀬														3	松山商	脇町中	四国予選	天理中		
7	S13 (1938)	S14	細田														4	愛媛師範	松山中	四国予選	天理中		
8	S14 (1939)	S15	門屋														5	愛媛師範	松山中	四国予選	天理中		
9	S15 (1940)	S16															6	愛媛師範	松山中	四国予選	天理中		
10	S16 (1941)	S17															7	愛媛師範	松山中	四国予選	天理中		
11	S17 (1942)	S18															8	愛媛師範	松山中	四国予選	天理中		
12	S18 (1943)	S19																					
13	S19 (1944)	S20																					
14	S20 (1945)	S21																					
15	S21 (1946)	S22	高橋																				
16	S22 (1947)	S23	菅																				
17	S23 (1948)	S24	小原																				
18	S24 (1949)	S25	伊賀上																				
19	S25 (1950)	S26	岡本																				
20	S26 (1951)	S27	新海																				
21	S27 (1952)	S28	辻田																				
22	S28 (1953)	S29	三輪田																				
23	S29 (1954)	S30	尾崎																				
24	S30 (1955)	S31	河本																				
25	S31 (1956)	S32	柳																				
26	S32 (1957)	S33	森本																				
27	S33 (1958)	S34	大野																				
28	S34 (1959)	S35	山岡																				
29	S35 (1960)	S36	大野																				
30	S36 (1961)	S37	八木																				
31	S37 (1962)	S38	露口																				
32	S38 (1963)	S39	立花																				
33	S39 (1964)	S40	鴨頭																				
34	S40 (1965)	S41	平松																				
35	S41 (1966)	S42	上岡																				
36	S42 (1967)	S43	玉井																				
37	S43 (1968)	S44	藤田																				
38	S44 (1969)	S45	岡部																				
39	S45 (1970)	S46	野本																				
40	S46 (1971)	S47	大野																				
41	S47 (1972)	S48	児玉																				
42	S48 (1973)	S49	松本																				

from 2000 to 2006

2000年(平成12年)

●第53回新人大会

【15人制】

1月23日、30日、2月6日 県総合運動公園球技場

(予選リーグ Aグループ)

松山聖陵	58	$\begin{bmatrix} 27 & 0 \\ 31 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山工	松山聖陵	6	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 6 & 5 \end{bmatrix}$	5	松山商
松山商	38	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 26 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山工					

①松山聖陵, ②松山商, ③松山工

(予選リーグ Bグループ)

新田	43	$\begin{bmatrix} 17 & 12 \\ 26 & 0 \end{bmatrix}$	12	松山城南	新田	17	$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山東
松山東	11	$\begin{bmatrix} 6 & 0 \\ 5 & 8 \end{bmatrix}$	8	松山城南					

①新田, ②松山東, ③松山城南

(決勝トーナメント)

2月11日 県総合運動公園補助競技場

1回戦

松山聖陵	17	$\begin{bmatrix} 5 & 5 \\ 12 & 7 \end{bmatrix}$	12	松山東	新田	20	$\begin{bmatrix} 10 & 7 \\ 10 & 0 \end{bmatrix}$	7	松山商
------	----	---	----	-----	----	----	--	---	-----

2月13日 県総合運動公園球技場

決勝

3位決定戦

新田	36	$\begin{bmatrix} 19 & 0 \\ 17 & 12 \end{bmatrix}$	12	松山聖陵	松山商	42	$\begin{bmatrix} 22 & 12 \\ 20 & 14 \end{bmatrix}$	26	松山東
----	----	---	----	------	-----	----	--	----	-----

【10人制】

2月13日 県総合運動公園球技場

準決勝

愛光	10	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 5 & 5 \end{bmatrix}$	5	八幡浜	野村	46	$\begin{bmatrix} 22 & 0 \\ 24 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山西
----	----	--	---	-----	----	----	--	---	-----

決勝

3位決定戦

野村	29	$\begin{bmatrix} 17 & 0 \\ 12 & 0 \end{bmatrix}$	0	愛光	松山西	22	$\begin{bmatrix} 10 & 7 \\ 12 & 10 \end{bmatrix}$	17	八幡浜
----	----	--	---	----	-----	----	---	----	-----

●セブンズ

【四国地区予選】第2回四国セブンズ

2月20日 伊予三島市運動公園

予選リーグ Aブロック

松山商	35	$\begin{bmatrix} 21 & 0 \\ 14 & 21 \end{bmatrix}$	21	徳島市立	松山商	5	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	三豊工
松山商	40	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 28 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知工	徳島市立	15	$\begin{bmatrix} 10 & 5 \\ 5 & 12 \end{bmatrix}$	12	三豊工
徳島市立	29	$\begin{bmatrix} 17 & 5 \\ 12 & 7 \end{bmatrix}$	12	高知工	三豊工	32	$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 22 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知工

①松山商, ②徳島市立, ③三豊工, ④高知工

予選リーグ Bブロック

貞光工	21	$\begin{bmatrix} 14 & 5 \\ 7 & 10 \end{bmatrix}$	15	松山聖陵	貞光工	12	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 12 & 5 \end{bmatrix}$	5	高松北
貞光工	40	$\begin{bmatrix} 21 & 0 \\ 19 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知農	松山聖陵	27	$\begin{bmatrix} 10 & 7 \\ 17 & 7 \end{bmatrix}$	14	高松北
松山聖陵	43	$\begin{bmatrix} 26 & 0 \\ 17 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知農	高松北	41	$\begin{bmatrix} 20 & 7 \\ 21 & 7 \end{bmatrix}$	14	高知農

①貞光工, ②松山聖陵, ③高松北, ④高知農

決勝

松山商	31	$\begin{bmatrix} 17 & 0 \\ 14 & 12 \end{bmatrix}$	12	貞光工
-----	----	---	----	-----

【全国大会】第3回全国高校セブンズ

予選リーグ 3月31日 東京都江戸川陸上競技場

八幡工	28	$\begin{bmatrix} 14 & 0 \\ 14 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山商	明和県央	17	$\begin{bmatrix} 7 & 5 \\ 10 & 0 \end{bmatrix}$	5	松山商
-----	----	--	---	-----	------	----	---	---	-----

3位グループトーナメント1回戦 4月1日 同上

名護	27	$\begin{bmatrix} 12 & 5 \\ 15 & 7 \end{bmatrix}$	12	松山商
----	----	--	----	-----

●第1回選抜大会

【四国地区予選】

1回戦 2月26日 徳島県鳴門総合運動公園球技場

新田	19	$\begin{bmatrix} 0 & 5 \\ 19 & 0 \end{bmatrix}$	5	脇町坂出工	20	$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 10 & 7 \end{bmatrix}$	7	土佐塾
----	----	---	---	-------	----	--	---	-----

3位決定戦 2月27日 徳島県鳴門総合運動公園球技場

脇町	25	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 18 & 0 \end{bmatrix}$	0	土佐塾
----	----	---	---	-----

決勝 2月27日 徳島県鳴門総合運動公園球技場

新田	33	$\begin{bmatrix} 19 & 0 \\ 14 & 0 \end{bmatrix}$	0	坂出工
----	----	--	---	-----

【全国大会】

4月3日 埼玉県熊谷ラグビー場A

Aブロック1回戦

国学院	88	$\begin{bmatrix} 40 & 3 \\ 48 & 0 \end{bmatrix}$	3	新田					
久我山				新田					
森下岡				中島岡					
諸伊野				渡門山					
星野岸				島山本					
山山下				松屋河					
吉野				豊原村					
熊谷				中村					
				尾上					
				小森					
				茨天					
				渡越					
				上川					
				松山					
				崎邊					
				智					

●第7回久万町長杯

3月28日~30日 久万高原ラグビー場

【Aブロック】

1回戦

萩工	31	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山東・伊予農	御所工	24	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	米子東・倉吉東
九州学院	20	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	安芸南	近大付	60	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	5	玉島

準決勝

萩工	10	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	御所工	近大付	34	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	九州学院
----	----	--	---	-----	-----	----	--	---	------

決勝

近大付	41	$\begin{bmatrix} 7 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	萩工
-----	----	--	---	----

【Bブロック】

リーグ 1組

九州産(福岡)	15	$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	親里(奈良)	九州産	81	$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	野村・吉田
九州産	57	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知選抜A	親里	22	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	14	野村・吉田
親里	59	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知選抜A	野村・吉田	31	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	24	高知選抜A

①九州産, ②親里, ③野村・吉田, ④高知選抜A

リーグ 2組

松山城南	52	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 5 & 0 \end{bmatrix}$	0	福山工(広島)	松山城南	41	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 5 & 0 \end{bmatrix}$	0	鳴門
松山城南	31	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	岡山朝日工	福山工	50	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	鳴門
福山工	49	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	岡山朝日工	鳴門	14	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	5	岡山朝日工

①松山城南, ②福山工, ③鳴門, ④岡山朝日工

リーグ 3組

高知選抜B	19	$\begin{bmatrix} 14 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	高松北	高知選抜B	48	$\begin{bmatrix} 14 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山工
松山商	72	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	高知選抜B	松山商	49	$\begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	5	高松北
高松北	12	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	5	松山工	松山工				松山商

①高知選抜B, ②松山商, ③高松北, ④松山工

(1,2位は松山商の棄権, 3,4位は得失点差による)

●第4回県高校10人制大会

4月8日、16日 県総合運動公園球技場

予選リーグ A組

八幡浜	26	$\begin{bmatrix} 5 & 7 \\ 21 & 0 \end{bmatrix}$	7	松山西	八幡浜	36	$\begin{bmatrix} 17 & 0 \\ 19 & 0 \end{bmatrix}$	0	三島
八幡浜	39	$\begin{bmatrix} 24 & 0 \\ 15 & 0 \end{bmatrix}$	0	吉田	松山西	24	$\begin{bmatrix} 5 & 0 \\ 19 & 5 \end{bmatrix}$	5	三島
松山西	69	$\begin{bmatrix} 40 & 0 \\ 29 & 0 \end{bmatrix}$	0	吉田	三島	24	$\begin{bmatrix} 12 & 0 \\ 12 & 0 \end{bmatrix}$	0	吉田

①八幡浜, ②松山西, ③三島, ④吉田

予選リーグ B組

野村	55	$\begin{bmatrix} 29 & 0 \\ 26 & 0 \end{bmatrix}$	0	西条	野村	56	$\begin{bmatrix} 21 & 0 \\ 35 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山工
松山工	24	$\begin{bmatrix} 24 & 0 \\ 0 & 5 \end{bmatrix}$	5	西条					

①野村, ②松山工, ③西条

決勝

野村	31	$\begin{bmatrix} 24 & 0 \\ 7 & 0 \end{bmatrix}$	0	八幡浜
----	----	---	---	-----

●第48回四国大会

【県予選】

1回戦 4月16日 県総合運動公園球技場

松山東	49	$\begin{bmatrix} 14 & 19 \\ 35 & 14 \end{bmatrix}$	33	松山城南
-----	----	--	----	------

準決勝 4月23日 県総合運動公園球技場

新田	36	$\begin{bmatrix} 19 & 0 \\ 17 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山東	松山商	32	$\begin{bmatrix} 17 & 0 \\ 15 & 0 \end{bmatrix}$	0	松山聖陵
新田				松山聖陵					
中島				真鍋	尾上				
渡門				岡田	小川				
島山				岩橋	森松				
松本				岡本	茨山				
吉屋				高田	天崎				
豊原				矢野	西村				
中村				堀池	越智				
				松山聖陵					
工藤				小栗	松江				
福谷				渡部	吉田				
石丸				浦部	渡部				
小向				大森	渡部				
小黒				森岡	上本				
				松山聖陵					
				藤村	江平				
				本松	平窪				
				丸井	森野				
				井島	光中				
				田中					

交代【新】橋(西村) 奥平(一色)

交代【聖】坂井(浦部) 渡部洋(渡辺) 渡辺(渡部洋)

決勝 4月29日 県総合運動公園球技場

松山商	31	$\begin{bmatrix} 7 & 14 \\ 24 & 14 \end{bmatrix}$	28	新田
-----	----	---	----	----

松山商				新田					
工藤				中島					
福谷				渡門					
石丸				島山					
小向				松本					
小黒				大森					
				岡岡					

【全国大会】

1回戦 12月28日 花園

清真学園 20 [17-0] 7 新 田

清真学園	新 田	飯 塚	塚 島	尾 小	上 川	交代【新】	家森(稲垣)	松本
多 邊 田	中 島	君 原	島 原	小 森	松 森	(中村豪)	【清】	石沢(青貴)
小 松 崎	橋 田	栗 山	久 保	大 天	崎 垣			
池 井 毛	門 田	山 久	本 川	大 天	崎 垣			
白 井 毛	田 山	松 大	本 川	大 天	崎 垣			
彌 永 田	岡 山	村 拓	本 川	大 天	崎 垣			
久 保 田	中 村	山 青	本 川	大 天	崎 垣			
長 島	中 村	豪	貫	越	智			

●県ラグビー70年記念

6月11日 県総合運動公園球場

桜とシダの会	39 [19-12]	24	愛媛OB選抜	愛媛高校選抜	36 [7-7]	21	山口高校選抜
トヨタ自動車	45 [19-22]	36	三洋電機				

2001年(平成13年)

●第54回新人大会

【15人制】

1回戦 1月21日 県総合運動公園球場

松山西 17 [5-12] 12 三島 松山東 37 [27-0] 5 野村

準々決勝 1月21日 県総合運動公園球場

松山商 82 [43-0] 5 松山工

準々決勝 1月28日 県総合運動公園球場

新田 101 [50-0] 0 松山西 松山城南 15 [0-13] 13 松山聖陵

松山東 39 [19-0] 5 愛光

準決勝 2月4日 県総合運動公園球場

松山商 5 [5-5] 5 新田 松山東 36 [19-0] 0 松山城南

決勝 2月10日 県総合運動公園球場

松山商 55 [26-0] 0 松山東

【7人制】

2月4日 県総合運動公園補助競技場

予選リーグ A組

松山聖陵 53 [36-0] 0	西条工	松山聖陵 40 [19-5] 5	三島
松山聖陵 67 [29-0] 0	北条農	三島 36 [24-7] 7	北条農
三島 19 [7-0] 0	西条工	北条農 12 [5-5] 5	西条工

①松山聖陵, ②三島, ③北条・伊予農, ④西条・東予工

予選リーグ B組

八幡浜 40 [14-7] 7	松山北	八幡浜 31 [7-7] 7	愛光
愛光 22 [5-7] 7	松山北		

①八幡浜, ②愛光, ③松山北

予選リーグ C組

野村 46 [20-0] 0	吉田	野村 19 [12-12] 12	松山工
松山工 58 [31-0] 0	吉田		

①野村, ②松山工, ③吉田

予選リーグ D組

松山西 37 [22-0] 0	弓削商船	松山西 33 [7-7] 7	新居浜東
弓削商船 17 [12-0] 5	新居浜東		

①松山西, ②弓削商船, ③新居浜東

2月10日 県総合運動公園球場

準決勝リーグ A組

新田 29 [-] 0	松山聖陵	新田 24 [-] 21	八幡浜
松山聖陵 28 [-] 5	八幡浜		

①新田, ②松山聖陵, ③八幡浜

準決勝リーグ B組

松山城南 14 [-] 12	野村	松山城南 22 [-] 10	松山西
野村 43 [-] 0	松山西		

①松山城南, ②野村, ③松山西

決勝

新田 43 [29-7] 14 松山城南

●セブンズ

【四国地区予選】第3回四国セブンズ

2月18日 伊予三島市運動公園

予選リーグ A組

松山東 31 [7-10] 15	脇町	松山東 19 [12-5] 17	土佐塾
松山東 26 [7-5] 10	坂出工	脇町 12 [12-5] 10	土佐塾
脇町 12 [5-7] 12	坂出工	土佐塾 35 [14-10] 10	坂出工

①松山東, ②脇町, ③土佐塾, ④坂出工

予選リーグ B組

新田 38 [26-0] 12	貞光工	新田 45 [21-0] 7	三豊工
新田 55 [24-0] 0	高知農	貞光工 27 [5-7] 7	三豊工
貞光工 38 [19-0] 0	高知農	三豊工 45 [19-0] 5	高知農

①新田, ②貞光工, ③三豊工, ④高知農

決勝

新田 22 [17-0] 12 松山東

【全国大会】第4回全国高校セブンズ

予選リーグ 3月31日 東京都江戸川陸上競技場

新田 17 [5-7] 7 大東大(東京) 新田 17 [10-0] 0 富山工

1位トーナメント 4月1日 東京都江戸川陸上競技場

準々決勝

新田 19 [12-7] 17 国学院栃木 東海大仰星 26 [19-7] 14 新田